

平成29年度 事務事業評価シート

事務事業の概要	事務事業名	すこやか育児相談					所管	健康部 保健サービス課
	行政計画	事業NO.	195	計画事業名	親と子の相談事業の充実			事業の開始・終了年度
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-2. 次の世代の育成 [小 柱] (1)安心して子育てできる環境づくり [施策] ②子どもの健やかな育ちの支援					[事業開始] 平成17年度 [終了予定] - 年度	
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	母子保健法第9条・第10条				
	事業対象	・直接の対象:乳幼児を持つ家庭 ・最終的な対象:乳幼児						
	事業目的	保護者が相談できる機会や集う場所を提供することで、育児不安の軽減や保護者の孤立化の防止、また支援が必要な家庭の早期発見・早期介入につなげ、乳幼児のすこやかな育成を図る。						
	事業内容	1. 育児相談:①1~3か月の育児相談 ②1歳半からの育児相談 ③出張育児相談 2. 育児心の悩み相談:子育て心理相談 3. 特別な支援を必要とする親子への支援:外国人親子への通訳派遣 4. おやこるむ:親子の交流の場としての会場開放						
	委託の有無	なし	委託内容					
補助金の有無	都							
事務事業の実績	種別	指標の名称	(単位)	目標値 (30年度)	26年度	27年度	28年度	
	活動指標	育児相談回数	回	119	119	119	119	
		育児心の悩み相談	回	36	36	36	36	
	成果指標	育児相談参加人数	人	3,000	3,024	3,611	3,157	
		育児心の悩み相談参加人数	人	100	78	118	75	
	決算額 (単位:千円)					1,182	1,166	1,180
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)				11,647	14,436	17,834
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)				1,152	1,136	1,180
		その他のコスト(扶助費・補助費など)				30	30	0
		総経費				12,829	15,602	19,014
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)				0	0	0	
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)				552	573	564	
	一般財源(区負担額)				12,277	15,029	18,450	
前回評価から改善した事項	問題を抱えている母子のケースは個別相談のニーズが高いため、よりきめ細やかに個別の対応ができるようMCGは終了し、個別相談である子育て心理相談の回数を増加し、相談体制の充実を図った。							
評価の視点	評価	評価の理由						
	必要性	4	育児不安の軽減や虐待予防の観点から本事業の必要性は高い。					
	効率性	3	身近な場所での定期的な相談や専門職による相談等があり、それぞれが連携し、利用者の状況に合わせた相談事業を効率的に紹介することができる。					
	手段の適切性	4	目的を達成するための手段としては適切である。					
	目的達成度	3	育児相談参加人数は昨年よりは減少したが、多くの方が利用されており、保護者が相談できる場、集う場として機能していると思われる。しかし相談によってはキャンセルや相談につながらないものもあり、必要な方に利用していただけるよう、地区担当保健師を中心としたよりきめ細やかな対応が引き続き必要である。					
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
育児不安の軽減、虐待予防の観点から本事業の果たす役割は大きい。育児相談に来所した母親同士が交流やグループ作りができるよう意識的に保健師が声かけし、自主的に問題解決ができるよう支援した。おやこルームは他課の事業により一時閉鎖となったが、浅草保健相談センターから生涯学習センターに場所を変えて再開し親子の交流の場は継続できている。						維持		